

各種健診等のご案内

健診等の日程はp.30
町内イベントカレンダー
をご覧ください。

町のホームページからでも

確認できます→

<注意>

- ・乳幼児健診は対象者へ個別にご案内します。
- ・がん検診等を希望する方は、健診日の10日前までに健康推進係へ申し込みください。
- ・特定健診やがん検診は、町内イベントカレンダー以外の日程でも受けることができます。

乳幼児健診
各種事業

各種健康診査

急病時・夜間の相談先

■救急安心センターさっぽろ

看護師が24時間救急医療相談に応じます。スマホ等での緊急度判定は、無料サポートツールを利用ください。

- ・電話番号 # 7119 または 011 - 272 - 7119

緊急度判定
サポートツール

■こども医療でんわ相談

症状に応じた一般的な対処・助言を看護師等から受けられます。

- ・受付時間 19時～翌朝8時
- ・電話番号 # 8000 または 011 - 232 - 1599

■北海道救急医療・広域災害情報システム

緊急時に受診可能な道内の病院を24時間（年末年始などの連休も可）検索できます。

- ・フリーダイヤルは 0120 - 20 - 8699
- ・携帯電話からは 011 - 221 - 8699

休日・夜間の受診先

<休日・昼間>

日曜・祝休日は江別市内内科小児科休日急病当番をご利用ください。詳細はp.30町内イベントカレンダーをご確認ください。

町のホームページからでも

確認できます→



急病当番医

※医療機関の都合により、変更となる場合があります。最新情報は新聞紙上や救急安心センターさっぽろ、北海道救急医療・広域災害情報システムでご確認ください。

<夜間>

■江別市夜間急病センター **内科** **小児科**

- ・住所 江別市錦町14-5
- ・受付時間 18時30分～翌朝6時30分（年中無休）
- ・電話番号 011 - 391 - 0022

■勤医協中央病院 **内科**

- ・住所 札幌市東区東苗穂5条1丁目9-1
- ・受付時間 19時～翌朝9時（年中無休）
- ・電話番号 011 - 782 - 9111

近くの医療機関案内

診療時間は、町のホームページに掲載しています。少し遅い時間に診療している医療機関もありますのでご確認ください。

予防接種（個別）実施医療機関

ご希望の方は、事前にお申込みください。

医療機関名	電話番号 (札幌市外局番 011)	予防接種								
		5種混合・ 水痘・MR・ DT	小児肺炎 球菌・ B型肝炎・ ロタ	日本脳炎	子宮頸 がん	BCG・ 妊婦RS ウイルス	高齢者 肺炎球菌	高齢者 带状疱疹	小児 インフル エンザ	高齢者 インフル エンザ・ コロナ
勤医協当別診療所	23-3010	●		●			●	●	小学生～	●
さいわい内科消化器クリニック	27-7591						●	●	13歳～	●
スウェーデン通り内科循環器科クリニック	25-3151	●	●	●	●		●	●	6か月～	●
スウェーデンヒルズ耳鼻咽喉科	27-6630								6か月～	●
田園通りさわぎ医院(予約はWEBも可)	25-2055	●	●	●			●	●	6か月～	●
当別あんしんクリニック(予約はWEB)	27-8012	●	●	●	●	●	●	●	6か月～	●
とうべつ内科クリニック	22-1313						●	●		●
とうべつ整形外科	25-5040			6歳～	●		●	●	6か月～	●
ふとみクリニック	25-3800							●	小学生～	●
北海道医療大学病院(札幌市北区)	778-7575	●	●	●	●		●	●	※1	●

※小児科定期予防接種（子宮頸がん除く）は、江別市内の小児科6か所でも接種可能です。

※1 北海道医療大学病院および江別市内小児科での小児期インフルエンザ予防接種は、医療機関にいったん金額を支払い、後日申請により一部助成を受けることができます。

「うつらない・うつさない」感染症予防を習慣に！

インフルエンザなどの感染症は、自分自身だけでなく、家族や周りの人にも影響を及ぼします。日々のちょっとした心がけが、感染症を防ぐことにつながります。「うつらない・うつさない」ための習慣を心がけましょう。

感染症とは

ウイルスや細菌が体内に入り、増えることによって症状が出る病気が感染症です。感染症は、正しい知識と適切な行動によって予防することができます。

感染症予防のポイント

①正しく手洗い

手はウイルスや細菌がつきやすい部位です。きれいにするために石けんでしっかり手を洗いましょう。



②十分な換気

密閉された空間では、空気中のウイルスや細菌が増えやすく、感染が拡大するリスクが高まります。室内の空気をこまめに入れ替えることが大切です。

③咳エチケット

多くの感染症が、咳やくしゃみによって感染します。学校や職場など人が集まる場所では、咳エチケットを心がけましょう。



④予防接種

予防接種には、感染の予防や症状を軽くする効果があります。インフルエンザなどの感染症がさらに流行するこれからの季節に備えて、積極的に予防接種を受けましょう。詳細は、お知らせ「インフルエンザ・新型コロナウイルスの予防接種」(p.14)の記事をご覧ください。

感染が拡大する前に対策を

気温や湿度が下がるこれからの季節は、ウイルスが活発になりやすく、感染症が広がりやすい時期です。日ごろの予防を心がけて元気に過ごしましょう。

問 保健福祉課健康推進係（ゆとり内・☎23-4044）

広 告

広 告

広 告